〔令和５年度　学校経営方針〕 つながる・つなげる　学校経営方針・取組と教師自身の方針・取組を、学校運営・教育活動同士を、教職員同士を…つなげること・つながることで相乗効果を生みだす。　５．４．１

余丁町小学校の教育目標
〇思いやりをもち助け合う子（豊かな心）
〇よく考え工夫する子（確かな学力）
〇たくましく元気な子（健やかな体）

基本理念　**全ての子が　いたいと思える温かいクラスづくり・学校づくり　わかった・できた・よく考えた　と思える授業づくり　教師が誇りに思える学校づくり**

〔人権尊重の理念に基づき、今できうる最高の教育活動を推進し、子どもたちに生き抜く力を育てる〕

◎人権（ユニバーサル）：人権尊重の理念（＝自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること）に基づき、児童との信頼関係を構築し、一人一人が所属感をもてる温かい学級・専科教室・学年・学校づくりを全ての基調として、教育活動を推進する。

◎児童一人ひとりに生き抜く力を育てる質の高い教育の推進：全ての教育活動において、知識・技能、思考力・判断力・表現力、自ら学ぶ姿勢や人間性等を育む、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す

★自己申告と学級経営方針に必ず入れること。☆がある場合は専科。

自ら問い続け・改善する教師に　**どんなクラス・学校にしたいか　どんな授業にしたいか　どんな教師でありたいかを問い続け、愚直に改善できる教師（P計画・D実行・C評価・A改善）**

・子どもたちに、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むためには、日々の授業や指導の質の向上が何よりも大切である。そのためには、教師自身が、常にどんな学校・学年・学級・教室、どんな授業にしたいか、どのような教師でありたいか、人でありたいかを考え続けなければならない。
・学び合い・高め合いの風土を醸成し、切磋琢磨できる教師集団であること。（チーム余丁）
〇自らを高める手立てを考え、意図的・計画的に改善する（P計画・D実行・C評価・A改善）
自己申告の当初・中間・最終申告、　学級経営方針の振返り・改善　児童の実態を常に把握し、生活指導や学習指導を改善すること。（個人として）
学校評価・各種調査・アンケート－学校経営方針―学校評価・学年末評価などを密接に関連させ、根拠をもって持続的に教育活動の改善に努めること。（組織の一員として）

【学校運営】
◇職層に応じた学校運営の推進及び組織貢献
教諭 校務の企画・立案・円滑な遂行　校務への積極的な参画　校務の問題点把握
主任 管理職への問題提起、他分掌との調整　分掌の進行管理　教諭等への指導・助言
主幹 分掌全体の進行管理・分掌間の調整　各分掌主任への指導・助言　管理職への意見具申　経営方針の周知徹底　研修・研究の計画的な推進・企画・調整　OJT への積極的な取組　改善策の提案

【豊かな心の育成】
◇基本的生活習慣を身に付けさせ、自ら考え正しく判断し実行する態度を育てる。
【生活指導】
〇基本的な生活習慣の定着
★自ら進んで挨拶する態度を育てる。
・学級会を活用しあいさつの取組について考えさせるなど、年間通して計画的にあいさつの取組を行う。
〇いじめ防止基本方針に則り「いじめ」「不適応」の早期発見・早期指導の徹底を図る。
・児童アンケート及び hyper-QU 等に基づき、学級の状況を常に把握し、未然防止・早期発見・対応に努める。
◇集団の一員としての所属感を高め進んで協力してよりよい学校生活を築けるようにする
【特別活動】
〇学級活動を基盤とした異学年交流の充実を通して様々な集団活動に自主的・実践的に取り組む態度を育てる。
★月に１度学級会を実施し、合意形成の力を付ける。
☆合意形成の力を様々な活動で活用する。
児童会活動、クラブ活動、縦割り班活動
・異学年交流、わかまつ学級・幼稚園　との交流を推進する。
児童集会・縦割り班活動・全校遠足
幼小連携、わかまつ学級との交流

【確かな学力の向上】
◇主体的・対話的で深い学びにつながる学習指導を工夫し、資質・能力を身に付けさせる。
★繰り返し指導により基礎・基本の定着を図る
・朝学習（火、水（読み聞かせ・読書週間を除く））等で前年度のベーシックドリル・ドリルパーク＋プリントを繰り返し活用し、基礎基本を確実に身に付けさせる。朝学習・金曜日をＧＩＧＡタイムとしてタブレットの技能向上を図る。
〇課題解決学習・探究型の学習を通して思考力・判断力・表現力を養う。
・算数ＴＴ、習熟度別算数の指導体制、指導方法を工夫し、授業の充実、学力の定着を図る。
★校内研究で国語科の研究に取り組み、言葉を通して考える力を養う。
☆教科の内容を通して、考える力を養う。
・地域の学習材や人材を活用し、体験的な学習を推進する。（学校運営協議会との連携）
・学校図書館を有効活用し、読書活動の推進、調べ学習の充実を図る。
・タブレット端末等 ICT を積極的に活用し、よく調べ、よくわかり、よく考える授業を展開する。
〇特別支援教育の推進
・コーディネーターを中心に、まなびの教室、専門員、特別支援教育推進員との連携を図り、個に応じた指導の充実に努める。

【健やかな体の育成】
◇自らの心身の健康状況や運動能力に関心をもち、主体的に運動や自らの健康の保持増進を図れるようにする。
・運動会・持久走・長縄・短縄・運動朝会等で、運動への関心・意欲を高めるとともに体力の向上を図る。
・養護教諭による保健指導
・児童の実態や健康診断、体力調査の結果などを生かした保健指導を行う。
・学級担任による食育指導を行う。

【能力開発・OJT・研究・研修】
◇授業及び学級運営改善のため、教師自らの資質能力を意図的計画的に高める。
【研究・研修推進委員会】
★校内研究を通した学習指導の充実
・国語科研究授業、分科会、授業観察等を通して国語科の指導法を高める。
・年間通した主体的な学び合いを通して、学級・専科経営や生活指導等にかかわる指導力の向上を図る。
・ＯＪＴチームを主体にして、研究分科会、日常的なＯＪＴの計画実行、学級経営方針の作成・振返りを行う。
★ＯＪＴ研修会、ミドルリーダー研修会、授業観察（学期に１回）、年次研　職員会議等を積極的に活用し、指導力向上を図る
・新教研その他学校外の研究団体の研究授業を引き受けたり、指導案検討会に参加したりして積極的に力量の向上を図る。
・分掌を通した計画的な学校運営にかかわる学び。

【保護者・地域との連携】
◇家庭・地域・学校の協働による教育を推進する。
〇保護者との信頼関係を築き、保護者とともに考え、ともに解決する体制を日常的に整える。
・日々の連絡、電話、連絡帳の活用、適宜の面談・相談・家庭訪問等を活用し、保護者との連携を密に取る。
・保護者の相談や児童の課題に対して、担任・ＳＣ・特支Ｃ・関係機関と連携し、解決を図る。
〇学校運営協議会・スクールコーディネーターとの連携を図り、学習材や人材を活用し、体験的な学習を推進する。

【環境整備】
◇確かな学力、豊かな心を育む環境を整備する
・学習や活動の様子がわかる掲示や展示を工夫する。
・屋上水田、自然観察池、雨水の利用、緑のカーテン等の教育環境を整え、積極的に活用する。

〔働きやすい職場づくりを目指す〕教材研究・授業準備・校内研究・各分掌の取組などに時間を費やし、教育活動を充実させるために知恵を出し合い工夫する。
・教育活動の精選・会議の精選、会議時間の順守・職員会議の資料配付減・集金業務の口座振込化、定時退庁日の設定、留守番電話の設置、タイムカードによる勤務管理、通知表２期制、専科の役割明確化